

| | |
|------------------|---|
| Title | Keio economic studies volume III, 1965 |
| Sub Title | |
| Author | |
| Publisher | 慶應義塾経済学会 |
| Publication year | 1966 |
| Jtitle | 三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.59, No.11 (1966. 11) |
| JaLC DOI | |
| Abstract | |
| Notes | 小泉信三博士追悼特集 |
| Genre | |
| URL | https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19661101-0195 |

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

KEIO ECONOMIC STUDIES

Volume III, 1965

CONTENTS

- Embodied Technical Progress and Economic Growth *Fusaji Takahashi*
 On William Godwin *Atsushi Shirai*
 Shifting of the Japanese Corporation Income Tax
 and the Differential Tax Burdens on Corporations
 by Size-Groups *Seiji Furuta*
 The Prospect of Soviet Economic Policy
 *Hiroshi Kato and Haruki Niwa*
 Non-Marxists' View on Marxist Economics *Yoshindo Chigusa*
 Economic Planning in Japan Critically
 Examined *Konosuke Yamada*
 Some Comments on "The Determination of
 Distributive Shares in a Two-Sector Model" *Kunio Kawamata*
 Rejoin to Mr. Kawamata's Comments *Shigeo Tomita*

THE KEIO ECONOMIC SOCIETY

Keio University

| 1966年(昭和41年) | 1965年(昭和40年) |
|--|---|
| <p>五月十一日心筋梗塞症により死去。 五月十四日青山葬儀所においてキリスト教式により葬儀。 九月 サルトル、ポーヴォール米塾知識人の役割と女性の地位について講演。</p> | <p>東京都より名誉都民の称号を贈られる。 一月 学費値上げに反対して学生スト。 二月 経済学部助教助手会結成。要旨書を発表。 三月 高村塾長辞任。 四月 永沢法学部長、塾長となる。 一〇月 カリキュラム改定審議。</p> |
| <p>◇著書 「小泉信三集」(現代人生論全集3) 雪華社 「福沢諭吉」(岩波新書) 岩波書店 「座談おぼえ書き」 文芸春秋社 「国家の死亡」 フェイス社 「私の文芸談」 新潮社 「海軍主計大尉小泉信吉」 文芸春秋社 「私の履歴書」 日本経済新聞社</p> | <p>期待される人間像発表○ILO調査団来日○慶 大学費値上げ反対スト○原潜寄港続○三矢研究 問題化○日韓基本条約仮調印○北炭夕張炭鉱で ガス爆発○山陽特殊鋼など倒産○東証ダウ安値 更新○東京都議会議長逮捕○ILO案件可決○ 吹原産業事件○海員組合スト○公労協半日スト ○私鉄二四時間スト○佐々木更三社会党委員長 に当選○山一証券へ日銀特別融資○山野炭鉱爆 発事故○日韓条約調印○都議会選挙で社会党第 一党○社会、公明小選挙区制反対で共闘確認。 (韓) 南ウエトナムへ二千人派兵、ソウルに衛戍令発動、日 韓条約批准案を与党単独で可決。 (インドネシア) 国連脱退、クーデタ起る。 (ソ) モスクワで世界共産党協議会、中国共産党不参加。 (ウエトナム) アメリカ大使館爆発、米地上軍直接戦闘参加 表明。 ○中ソ論争激化。</p> |
| <p>○早大事件、大学紛争続く○専売公社選挙違反事 件、田中彰治事件など、政界の腐敗事件続く、 荒船、松野、上山山事件○小選挙区制をめぐ る動き活発となる○航空機の事故連続○日共自主 路線をとる○三菱重工統合、日産・プリンス合 同など企業合併続く。</p> | <p>(中) 文化大革命。 (印) ガンデー女史首相となる、食糧危機。 (ウエトナム) 北爆激化、ホノルル会議。 (インドネシア) 反共デモ続き、共産党非合法化。 (ドゴール) NATOの改組を要求、脱退を宣言。 (英) 労働党大勝。</p> |

(白井厚)